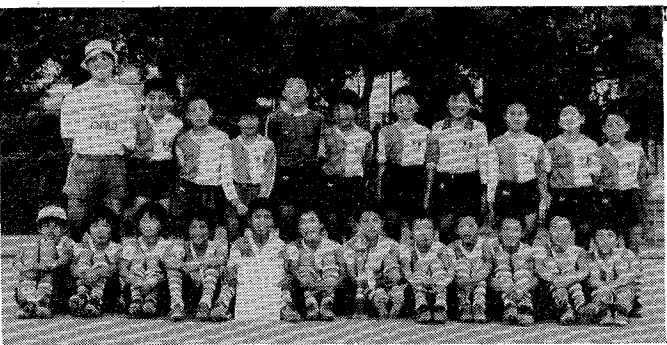


神戸FCボーイズ県大会へ

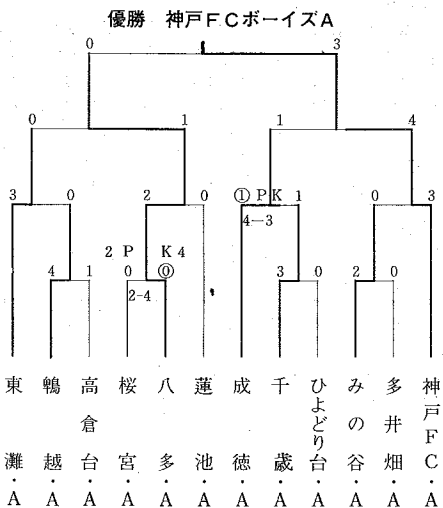
全日本少年神戸市予選



優勝した神戸FCボーイズ

第4回全日本少年サッカー大会神戸市予選は5月10日から神戸中央球技場少年グラウンドを中心に12チームが参加して行われた。

第4回全日本少年サッカー大会神戸市予選結果



1回戦から好ゲームが続いたが、結局準決勝で常勝東灘を破り、初優勝をねらう八多と、2年間決勝で苦杯をなめてきた神戸FCが決勝戦に駒を進めた。前半から神戸FCは波に乗り、たて続けに3点を取、楽に試合を進めた。その後八多も激しく攻めたが、得点なく前半終了。後半も両者の力を出し合い熱戦を展開したが、試合経験豊富な神戸FCが八多の激しい攻めを守り抜き、三年ぶり二度目の優勝、県大会出場を決めた。

神戸FCは6月22日、県大会1回戦を姫路代表と対戦する。

今大会は神戸FCの外、決勝進出チームを苦しめた東灘、成徳、そしてPK戦で敗れた千歳、桜宮など好チームが多く見られ、最近の市内少年チームのレベルアップに関係者は喜んでいる。

＝ 壮年イレブン五大都市大会へ ＝

五大都市体育大会（横浜、名古屋、大阪、京都、神戸）が7月11日から13日にかけて横浜で開催されますが、この大会に市民総スポーツの代表として45歳以上の壮年サッカー交歓大会が行われることになりました。神戸市代表として、かつて全日本で活躍された和田さん、岡村さんらが参加されますが、今後の日本サッカー界にとって何かよい参考材料が発見できればと思います。

神戸市協会だより
ビデオでサッカーを学ぼう

磯上公園内の神戸市立スポーツ会館にビデオカセットとテレビが設置されました。昨年同スポーツ会館がオープンした際に神戸市サッカー協会々長の河本春男氏（ユーハイム社長）が施設充実のため寄付された200万円から購入したものです。同会館の冷暖房完備の

ルールは、8人制（女子サッカーと同じ）で25分ハーフの変則ルールです。夏のさ中十分身体に気をつけられてがんばってください。メンバーは、次のとおりです。（）は年齢
岡村敬(53)三菱重工、田島昭策(63)神戸FC、西林恵三(58)神戸FC、小崎忠雄(56)神戸FC、皆木肇(54)自営、阿江完(52)神戸FC、桜井修(51)神戸FC、生尾守伸(47)神戸FC、原田稔(46)神戸FC、寺島健夫(46)神戸市役所、和田津苗(55)田辺製薬、館家好男(46)自営、二宮運次(62)神戸中央信用組合、西邑昌一(67)自営、赤川公一(73)県協会副会長、三幣修(53)阪神相互銀行、高砂喜之(54)双和運輸、県協会理事長。

会議室で各大会のビデオを見ながらサッカーの勉強をしてみませんか。サッカー愛好家の利用をお待ちしております。なお、ビデオの型式は、VHS方式です。現在、昨年のワールドユース大会の全フィルムが用意されています。

オウビ

葺合区琴緒町4丁目7 ☎078(242)3667
国鉄三宮駅北側神戸経理専門学校斜め前（田上ビル1階）

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

生田区三宮町3-2 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

スポーツワールド33

生田区三宮町2丁目1 ☎078(332)7332

マヤスポーツハウス

灘区森後町1丁目4-6 ☎078(841)8811
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

兵庫県サッカー協会だより
イメージーションサッカーの利用を

イメージーションサッカーによってサッカーをより深く勉強してみませんか。日本サッカー協会の編集による8mmフィルムが12巻同協会に揃えられ、サッカー愛好家の利用をお待ちしています。内容は、次のとおりです。

なお、貸出しは1週間以内、1巻につき500円で、貸出中に破損等した場合は実費弁償をしていただきます。

- No. 1 シュート編（シュート）
- No. 2 ク （ヘディング）
- No. 3 ク （センターリング）
- No. 4 ク （クッションボール）
- No. 5 攻撃編（スルーパス）
- No. 6 ク （オープンスペース）
- No. 7 ク （パスアンドゴー & カペパス）
- No. 8 ク （速攻）
- No. 9 守備編（カバーリング&クリアー）
- No. 10 ク （タックル&プレッシャー）

- No. 11 ゴールキーパー編
- No. 12 リスタート編

サッカーの最終目的であるシュートを徹底的に頭にたたきこんでいただきたい。それが世界のトップスター、クライフ、ミュラーのものであろうとも。明日からは自分も彼らと同じイメージでシュートが打てる様に！

〔攻撃編〕

いろいろな攻撃法があるが、それらは全て最終目的であるシュートに結びつけるためのものであるということにイメージを持って見ていただければ個人の素晴らしいプレーがより一層明確になります。

〔守備編〕

守備は決して受動的なものではなく、素晴らしい守備は、全て計画された能動的なものであるということも解ってもらえるでしょう。そしてそれは又、攻撃のためのものでもあります。

〔ゴールキーパー編〕

ゾフ（イタリア）、マズルケビッチ（ウルグヘイ）、カルネバリ（アルゼンチン）等の世界の名ゴールキーパーの素晴らしいプレーはその準備の段階からやはり周到です。そして守備範囲の広さ、攻撃参加の早さには目を見張るものがあります。

〔リスタート編〕

神技ともおもえるようなリベリーノ（ブラジル）のゴール前でのフリーキックをはじめ全て絵をかけた様なフリーキックだが、そこにもやはり練習量の豊富さと共にイメージの豊かさが感じられる。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒657 神戸市葺合区八幡通2-5磯上公園
神戸市サッカー協会 078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



神戸のサッカー



ごあいさつ 会長 河本 春男

昭和54年年度は多彩なスケジュールを皆様のご協力で立派にこなして新年度を迎えました。今年は1980年ということが、新しい時代の節と考えられていますが、それを裏書きするかの如く、国際情勢が緊迫した状態で、今後何が起るかわからないと思える程、不透明な時代でございます。モスクワオリンピックが分裂状態になり、日本が参加しないことを声明したこともまた大きな出来事でありました。西ドイツと日本が不参加を表明したことはソ連にとっては大変な打撃であるはずですが、共産国ではスポーツは政治そのもののものですから。

政治的論議は別といたしまして日本のサッカーが何故強くならないのかを考えてみましょう。総じて何事も遊び半分でやっていることはある程度までは上達しても、これには限度があります。今日サッカーは随分普及して底辺は広くなりましたが、頂点は余り高くありません。これは当然だと思います。健康のためのスポーツ、興味をそそるための試合であるとすれば、プロを目指す世界のレベルには遠く及ばないのは当然でしょう。だから我々サッカーの関係者は現時点では余り高望みをしないでなるべく多くの人がサッカーを楽

サッカー王国兵庫の再現を、
～ 55年度市協会総会をおえて ～

しむことで健康を築き友情を培うことに力を尽すべきだと思います。つい功を急ぎ世界の強剛と覇を競うような日本チームの出現を夢みるのですが、それは無理な注文でしょう。サッカーを知る人、サッカーを好む人が多くなって観衆も増えてくるとプレーヤーにも励みが出てそれなりに試合も見応えができ雰囲気も白熱して来るものです。古い人はよくご存知の通り、50年も前の話になりますが、サッカー王国兵庫の名が全国にとどろいていた頃のことです。

全国中等学校蹴球大会の兵庫県予選の決勝戦ともなると甲子園のスタンドは満員の観衆で埋まり、東京その他の地域からも熱心なファンが詰めかけました。当時の選手諸君が今日のプレーヤーと比較して優れていたのではありません。ただ当時の教育は文武兼備を理想としていましたから意気込みが違っていました。命がけといっちは言い過ぎかも知れませんが、そんな凄まじさがありました。それが試合に迫力を与え見る者を駆り立て、プレーヤーもまたその雰囲気の中で名演技を披露できたのではなかったかと追憶しています。

今年もまた多忙なスケジュールが一杯つまっていますが、サッカー王国兵庫再現のため、よろしくご協力下さいようお願いしてご挨拶といたします。

ポートピア招待
国階試合も

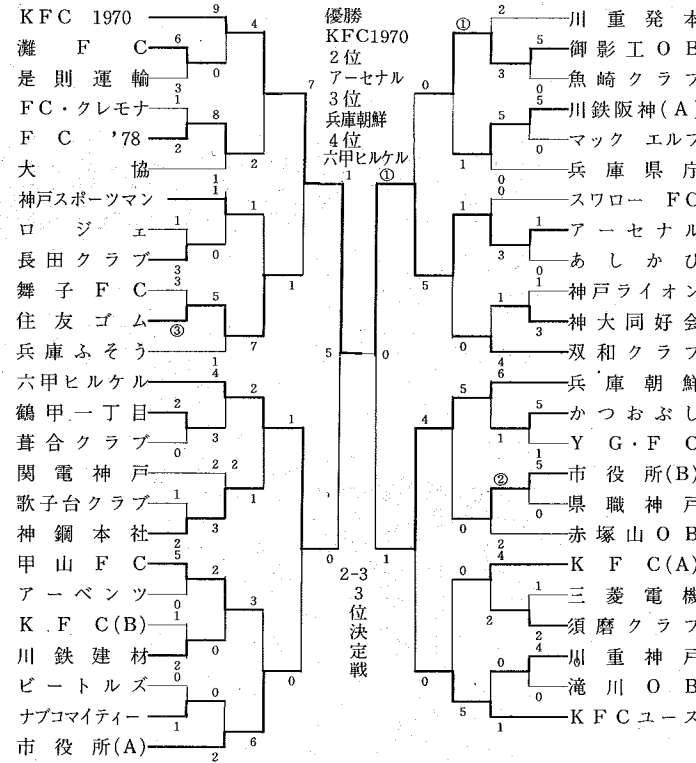
理事長 一北 四郎

本年の神戸市サッカー協会の評議員総会は、昨年8月に完成した私達の三木記念神戸市立スポーツ会館で開催することができました。これが何よりも大きな誇りで、喜びでもあります。この会館の運営につきましては皆様の絶大なお支援、ご協力によりようやく軌道に乗り、協会事務所を会館内に開設し、皆様への連絡も又、各種の問い合わせもやりやすくなりました。又会議室を利用しての各種委員会や講習会も実施しやすくなりました。

今後私達神戸市サッカー協会はこの会館を拠点として一層皆様のための事業を充実させ新しい試みも立案したいと考えております。

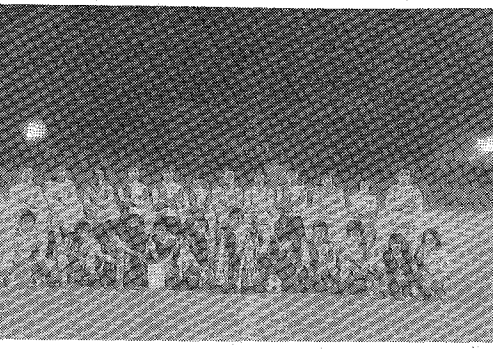
56年のポートピア博覧会期間には国際試合も計画されておりますし、今後とも神戸兵庫のサッカー発展のために皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

★第22回神戸市民大会社会人の部結果★



神戸FC一九七〇見事な優勝

アーセナルもよく健闘



▶ 決勝（5月18日神戸中央球技場）

神戸FC 1970 5 { 3-0 } 0 アーセナルFC

第22回神戸市民大会社会人の部は、4月6日より49チームの参加によって磯上グラウンドを中心に行われた。

優勝した神戸FC 1970チームは、これまでは兵庫朝鮮等とほぼ互角の試合をしながら惜敗を重ねていたが、この市民大会で地味な練習の成果が発揮できた。2位のアーセナルも社会人の2部リーグながらよくがんばった。

その反面、リーグカップ優勝の兵庫朝鮮、六甲ヒルケル、神戸市役所（A）などはいったいどうしたことか。トーナメント試合でも力いっぱい日頃の練習の成果を十二分に発揮して、神戸のサッカー技術を高めていってみたいものだ。試合結果は次のとおり。

激動の80年代へキックオフ

—神戸市サッカー協会総会から—

去る5月17日(土)午後5時から神戸市サッカー協会理事会、同6時から総会を神戸市立三木記念スポーツ会館(サッカー会館＝磯上グラウンド内)で行われました。

河本春男市協会会長のあいさつのあと、一北理事長が事業報告、会計報告を行いました。事業報告は、社会人委員会、大学委員会、高校委員会、中学委員会、少年委員会、審判委員会の活動を中心に各試合の結果と反省を行いました。この間、昔のサッカー王国、神戸・兵庫をという声が多く、各種の全国大会で何かひとつ日本一にという願望が強いようでした。

今年の事業計画も各種の委員会を中心に展開されるわけですが、役員は選手のみさんの奮起一番を期待しています。青春の一時、ダイナミックに勝負しようではありませんか。選手諸君の一つのプレーがサッカー王国神戸をつくりあげるのです。辛いですがこころががんばりましょう。

また、昭和56年6月には「神戸のサッカー」が100号になります。これを機に盛大な行事を企画しようとしています。みなさんのすばらしいアイデアを市協会へお寄せ下さい。

(〒651 葺合区八幡通2-1-10 神戸市サッカー協会まで)

昭和55年度事業計画

1) 協会主催の大会及びリーグ

第1種(社会人)

- 第22回神戸市民大会 4月～5月
- 社会人リーグ 4月～12月
県リーグ所属3チーム
関西リーグ所属2チーム
1部10チーム、2部20チーム(A・B2ブロック) 3部57チーム(A～F6ブロック)
- 神戸市総合体育大会(9区対抗)
各区予選8月、本大会10月25、26
- 市社会人リーグ選手権大会 1月～3月

第2種(高校生年齢)

- 神戸市総合体育大会(検討中)

第3種(中学生年齢)

- 第22回神戸市民大会 5月3日～12日
- 県中学選手権大会 市予選10月

第4種(小学生年齢)

- 少年サッカーリーグ 4月～12月
1部(5・6年生A) 2部(5・6年生B)

- 3部(3・4年生) 4部(女子)
- 全国少年大会市予選 5月11日～6/1
- 神戸市少年トーナメント兼県少年大会予選 9月～10月
- 第2回神戸兵庫ライオンズクラブ杯サッカー大会
- 少年サッカーサマーリーグ 8月

II) 五大都市体育大会 7月11日～13日横浜

III) 神戸市で開催される日本協会、県協会主催・主管の主な大会

- 日本サッカーリーグ 1部、2部
- 関西社会人リーグ、関西学生リーグ
- 天皇杯全日本選手権兵庫大会、関西大会、中央大会
- 県リーグ
- 県社会人トーナメント(市リーグ上位チーム)
- 県高校選手権大会兼全国大会予選10月～11月

IV) 選手強化・指導

- 少年選抜の編成と強化・大会派遣
- 中学生優秀選手指導、中学生選抜の編成と強化、東西対抗
- 高校生優秀選手指導、高校選抜の編成と強化、東西対抗

- 五大都市大会代表の選考と強化
- 県下都市対抗社会人選抜の選考と強化

6. トレーニングセンターの開催

V) 講習会、研修会

- 少年サッカー指導者講習会
- 4級審判養成講習会
- 3級、4級審判研修会
- 少年中学補助審判講習会

VI) 月刊「神戸のサッカー」発行

- 毎月10日発行、86号～97号
- 100号記念行事委員会の措置

VII) 会議

- 総会 5月17日 スポーツ会館
- 理事会 5月17日
- 常務理事会 2ヶ月に1回
- 各種別のチーム代表者会議 各委員長が必要に応じ招集する。
- 技術、審判等の専門委員会 各委員長が必要に応じ招集する。
- ニュース編集委員会 毎月1回
- スポーツ会館運営委員会 必要に応じ招集する。

昭和55年度収支予算は、下記表のとおりです。

昭和55年度収支予算書

自 昭和55年4月1日～至 昭和56年3月31日

歳入の部

1. 前期繰越金	263,372
2. 登録料	1,418,000
○一種(社会人)	1,302,000
○二種(高校)	58,000
○三種(中学)	31,000
○四種(少年)	27,000
3. 参加料	2,984,000
○市民大会	238,000
○社会人リーグ	1,584,000
○少年リーグ	900,000
○県中学選手権予選	62,000
○社会人リーグカップ	200,000
4. 有料試合収益	200,000
5. 助成金	238,000
○市体育協会強化費	110,000
○市民大会運営費	35,000
○五大都市大会強化費	65,000
○市総合体育大会運営費	28,000
6. 月刊神戸のサッカー発行会計	1,734,741
7. 雑収入(預金利息等)	11,887
歳入の部	¥ 6,850,000

歳出の部

1. 上部団体納付金	7,000
○神戸市体育協会加盟料	7,000
2. 委員会活動費	600,000
○技術委員会	400,000
○審判委員会	25,000
○総務委員会	175,000
3. 大会運営費	3,047,000
○市民大会	273,000
○社会人リーグ	1,584,000
○少年リーグ	900,000
○市総合体育大会	28,000
○県中学選手権予選	62,000
○社会人リーグカップ	200,000
4. 月刊神戸のサッカー発行会計	1,734,741
5. 三木記念神戸市立スポーツ会館運営会	1,200,000
会計	
6. 予備費	261,259
歳出合計	¥ 6,850,000

西日本OB連盟ベテランズ上海遠征



神戸FCと西日本OBサッカー連盟共催でベテランズチームA(60歳以上)・B(50歳以上)の2チームが中国を訪問し、4月26日上海市で熱戦を展開した。

交歓試合の日、観衆2万人を迎えた虹口体育場は満員札止め、しかも第2試合後半雨が降り出したが誰一人席を立つ者なく、選手観客一体となってゲームを楽しむとともに私たちが熱烈歓迎する姿は印象的だった。そして地元の新聞はもとより、北京のスポーツ新聞「体育報」の記者も取材に来て、試合の記事が北京新華社通信となって日本各地に流されたことは、正直いって私たちの驚きであり、日中友好に与えた反響は大きなものだった。

昨年11月新聞紙上で上海に50歳以上の元老チームがあることを知った神戸FCと西日本OB連盟が上海側に呼びかけ急速に交歓試合が実現したもので、西日本側は50歳以上の参

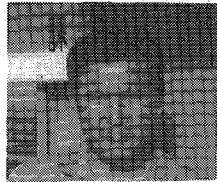
加者29人が集まった。断っておくが29人は自費で参加を希望した人々で、決して選抜したものではない。出身地別に見ると、神戸7、伊賀上野6、京都5、松山4、岐阜3、金沢富山、熊本、藤枝各1、合計29人、年齢別に見ると、銀パンツ組(70歳代)5人、赤パンツ組(60歳代)14人、オレンジパンツ組(50歳代)10人、。

上海チームは予め日本から贈呈した銀パンツをはいた孫錦順さんが74歳、孫さんとともに1934年ベルリンオリンピックに出場した賈幼良さんが68歳で孫さんを除くと最高令で、次の平均年齢を注目に値きたい。

- 第1試合 西日本ベテランズA 0-2 上海A (平均年齢66.0歳) (63.5歳)
- 第2試合 西日本ベテランズB 1-2 上海B (平均年齢56.8歳) (52.9歳)

Aチーム西島、Bチーム田嶋両監督が参加選手全員を出場させることに苦心した西日本チームとは対照的に上海チームは体力、技術に優れたベストメンバーを揃え選手交代もなく、随所に美技を見せ西日本GKAチーム加藤正信(団長)Bチーム香山匡史の好守もむなしく両軍とも敗れた。この2試合とも特筆大書したいことは両軍ともに悪質な反則による笛は遂に一回も吹かれなかったことである。

あなたも 今 女子のサッカー



蔵 力 夫 (兵庫サッカー協会常務理事 関西女子サッカー連盟副理事長)

はじめに

昨年3月、日本女子サッカー連盟が日本サッカー協会に認知され、又今年5月の日本協会評議員会に於て第5種委員会が承認されたとの様子、関係者として喜びにたえません。

今まで一般には「女子にサッカーが出来るものか!」「どうせ女だから…」等々物見でしか評価されなかったのですが昭和50年以後における関係者指導者の地味で熱心な活動や指導、やる気のある選手等、又昨年においてはマスコミにも協力戴き女子サッカーの理解が相当変わって来た様に感じます。一度ゲームを観戦願えれば、その真剣に練られた技術マナー、ファイト等々納得いただけると思います。

関西女子サッカー連盟中垣内会長がよく言われる「女子にサッカーを!」という時期が

過ぎ今は「女子のサッカー」であるという事が現実のものとなりつつあります。第5種委員会設立を機会に女子サッカーについて私の少ない記憶より記します。

いままで

詳しい事はさだかではありませんが日本で最初に女子チームが結成されましたのは昭和35年頃神戸女学院で創部され近くの小林聖心女学院と定期戦を行った様です。関東では47年ジンナンFCが結成されています。

公式試合を始めるべく49年に京都で女子指導者が集まりリーグ開催を決定し翌50年5月より関西女子サッカーリーグが5チームで、関東では京浜女子サッカーリーグが6チームでスタートし、以後毎年発展を続けています。主な記録は次の通りです。

年 度	関西女子リーグ	関東チキンリーグ	リーグ選抜東西対抗	王 座 決 定 戦
50	西山高（京都）（5）	FCジンナン（6）	（西山高1－0九段高）	西山高2－0 FC ジンナン
51	西山高（9）	横浜招待リーグ FCジンナン チキンリーグ 実践女子（5）	全関西0－1全関東	西山高1－0 FC ジンナン
52	西山高（9）	FCジンナン（6）	――	西山高1－1 FC ジンナン
53	神戸FCレディース（9）	FCジンナン（6）	――	神戸FC 1－2 FC レディース ジンナン
54	中学リーグ 高倉中 一般リーグ 高槻女子FC	実 践 女 子 大（7）	全関西5－2全関東	高槻 女子FC 1－2 FC ジンナン
55	Aブロック（6） Bブロック（6）	？	？	？

いま

日本女子サッカー連盟に登録(中学生以上)されたチームは52チーム約1,000人で地域としては、兵庫、大阪、滋賀、広島、福岡、三重、静岡、東京、埼玉、神奈川、千葉、栃木の12都府県です。

組織が確立されリーグ運営されているのは関西女子サッカー連盟及び関東チキンフットボールリーグが本格的ですが他にも清水市の小学生リーグ広島のママさん中心のリーグが昨年より始められたそうです。全国では100チーム以上、人口約3,000人と予想されますが外国では女子プロサッカーが盛んで世界選手権、アジア選手権等が行われています。アジアでは台湾が都を抜いていて選手に男まじりのメンバーがいるので強力チームとの評判があります。

リーグ運営については関西女子サッカー連盟はいつも先んじた事を行いレベルもトップであったが最近では関東との差はないと感じられます。本年度のリーグ及び選手権に参加するチームは(兵)神戸女学院中等部及び高等部、神戸FCレディース、高倉中学、ACプラム、塩原女子高、啓明女学院、伊丹ホワイトスターズ(ママさんチーム)(大)高槻女子FC、TFVCVシスターズ、全淀川高(京)西山高、西京商高の13チームです。

女子の技術レベル

一概には申しませんが53年度と54年度のサッカーカーニバルにおける観衆の前で行われたボールリフティングの結果を参考にし、男子とある程度の比較が出来るかと思いますので下表を参照下さい。

53年度

- 岡本光子(西山) 297回
- 長平登美子(西山) 181回
- 加治真子(高倉) 83回
- 山本賀世子(西山) 78回
- 岩城砂奈美(暁ク) 62回

54年度

- 柿並 薫(高槻) 278
- 山本賀世子(西山) 270
- 中嶋久美(西山) 263
- 井上寿子(西山) 235
- 松田理子(高槻) 209

200回以上は53年1名、54年7名と底辺のアップが表われています。

女子はボールタッチ、ドリブル、スタミナ等は良いものを持っています。ダッシュと戦術をゲームで出せる様になれば一段とチーム、力アップとなります。

女子のルール

関西女子リーグでは女子に適したサッカーを考慮しグラウンドは少年と同様、70m×40m ゴール5×2.15mとし、使用球は4号、人数は8人制となっております。このことにより全員攻撃全員守備が重要となり広いグラウンドで部分的にゲーム活動をすると言うことがなくなり非常にスリリングなプレーが見られ効果を上げています。試合時間は50分で行います。

神戸の女子サッカー

加盟チームは、一般リーグで神戸FCレディース、高倉中、54年度よりACプラム55年度より塩原女子高、啓明女学院とリーグの大半

を神戸勢で占めています。

成績も53年度リーグ優勝神戸FCレディース、準優勝高倉中学で西山高の連続優勝をはばむ成果を上げており選手権においても優勝高倉中学、準優勝神戸FCレディースとこれも神戸勢独占となっております。

54年度は中学リーグと選手権にダブル優勝をした高倉中はリーグでも得点王瀬尾さん(10点)を初め4位まで独占するという輝かしい話やらで充実安定したチームを立証しました。ACプラムは初参加ながら選手権準優勝を遂げ全日本大会出場もかちえた事はほめるべきでしょう。

神戸FCレディースは組織のしっかりしたチームで指導者の熱心さ、メンバーのサッカーに打込む心構え等安定したレディースで本年度も優勝候補に挙げられています。小学生サッカーにおいても参加チーム数の多い点、組織化された運営、高い技術レベル等々どれをとっても全国のトップレベルでしょう。特に有馬箕谷等男子選手にも劣らないシュート力、ドリブル等優秀な選手が多く中学、高校と続ければ立派な選手になることが伺えます。

神戸の女子サッカーは今や男子サッカーを追い越し日本のトップレベルに位置していることは間違いありません。

これから

女子にもサッカーが出来るという事が完全に立証され日本サッカー協会も正式組織に入れる事になり今後女子バスケの様なレベルの高いゲーム内容、組織となる方向に進むべきであるかと考えます。

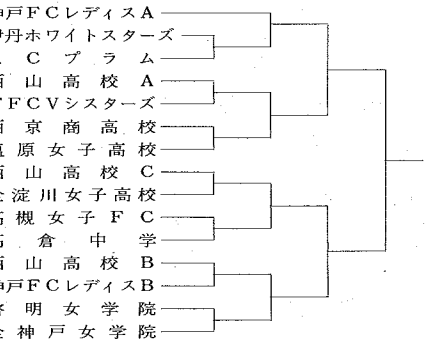
私見ですがまず当面の目標として現在のリーグ組織の定着と技術レベルの向上及びまだ把握されていない12才以下(小学生)、ママさん等の参加活動についてまとめる事が急務であります。地域での組織確立により地域試合関西大会等目標をもって試合をする事が出来ます。又年齢別大会、各種別大会等も開催し一チームでも多く参加される様普及に努めるべきであります。

トップクラスは現在の関西女子リーグの如き実力グループのリーグ戦が好ましく選抜チームを結成し国際大会へ参加し男子より早くサッカーで日の丸を掲げる事が夢物語ではない様に感じます。 終

昭和55年度

第4回関西女子サッカー選手権大会

6月中旬から～



日本女子サッカー連盟シンボルマーク



日本女子サッカー連盟

漫画家の望月三起也先生(本連盟理事)のデザインによる日本女子サッカー連盟のシンボルマークです。女子を現わすコウノトリがボールを運んで世界にはばたいています。

関西女子サッカー連盟シンボルマーク



西山高サッカー部員の作です。